



Brownie for Stamper

利用シーン



電子印鑑の導入効果(スピードアップ)

社内利用

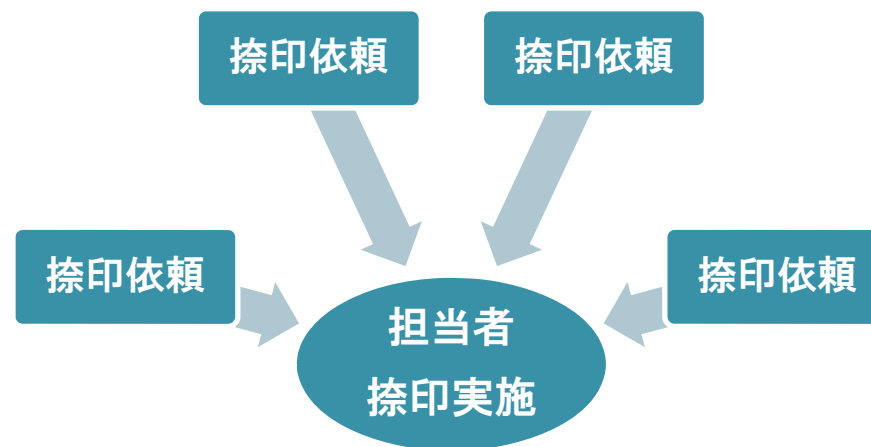
- 稟議、打ち合わせ議事録、など
 - ・ 状況により、外部から提示が求められる可能性があり、承認した結果を文書に残す必要がある。
 - ・ 承認文書の種類に応じて、承認のルートが状況により変化するため、ルール型では対応が困難。
 - ・ 電子印鑑の捺印情報を文書へ埋め込むことが可能となり、システムのログ管理と切り離せることもポイント
- 承認のスピードアップと電子データで完結する点の効果を実感いただいた。



電子印鑑の導入効果（スピードアップ）

社内から社外利用（企業間の利用）

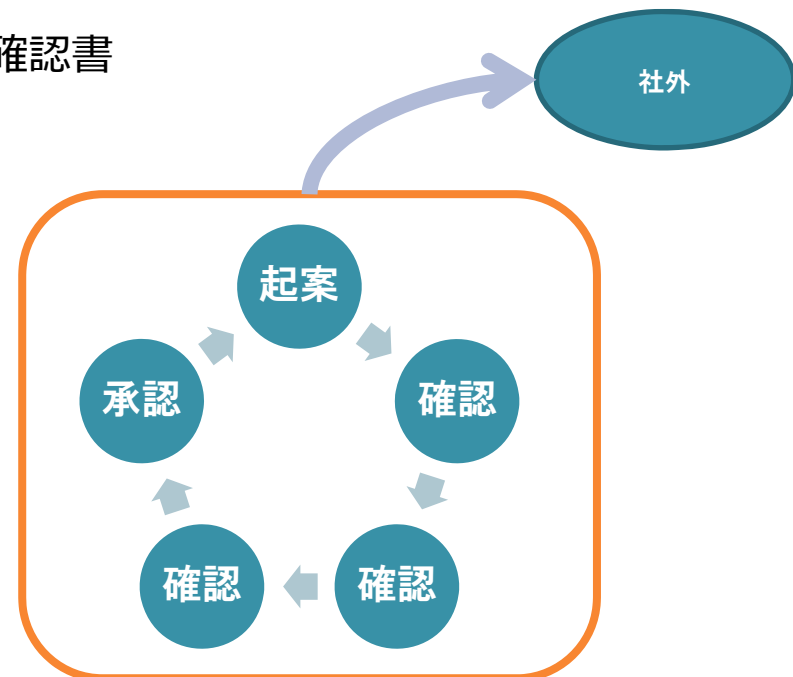
- 提出・報告に関わる一連の書類
 - チェック、確認を行う責任者は、複数の案件を抱えることが多い。
 - 紙情報では、捺印の対処文書を送付するか、本人が拠点へ移動するなど、物理的な時間がかかっていた。
- 対象文書を電子化し、電子捺印を導入することで、どこでも捺印が可能となる。
- 紙面の運送コスト、本人の移動コストも削減が可能となります。



電子印鑑の導入効果（スピードアップ）

社内から社外利用（企業間の利用）

- **弊社での利用：請求書、見積もり書の提示**
 - ・ 社内で承認、角印を捺印し、そのままお客様へ提示。
 - ・ 紙ベースの運用をそのまま電子データで置き換えることが可能。
 - ・ 文書のアクセス状況をアクションログで判断可能。
- **利用シーン**
 - ・ 見積もり、請求書、支払通知に対する確認書
 - ・ 契約関連の書類への捺印
 - ・ ISO関連文書への記録確認



電子印鑑の導入効果(コスト削減)

社内から社外利用(企業間の利用)

○ 注文と注文請書により受発注 :

- 注文書と注文請書への捺印
- 印紙税を削減することが可能になり、連結対象の企業間では、双方負担がなくなるため効果は、大きい。
- 電子データによりやり取りが完結するため、スピードアップも可能。

